京都人類学研究会

京都人類学研究会3月例会

東アフリカ牧畜民トゥルカナの自己肯定的な生き方を支えているもの
―相互行為システムの主体的な選択

【発表者】

北村光二（岡山大学・名誉教授）

【コメンテーター】

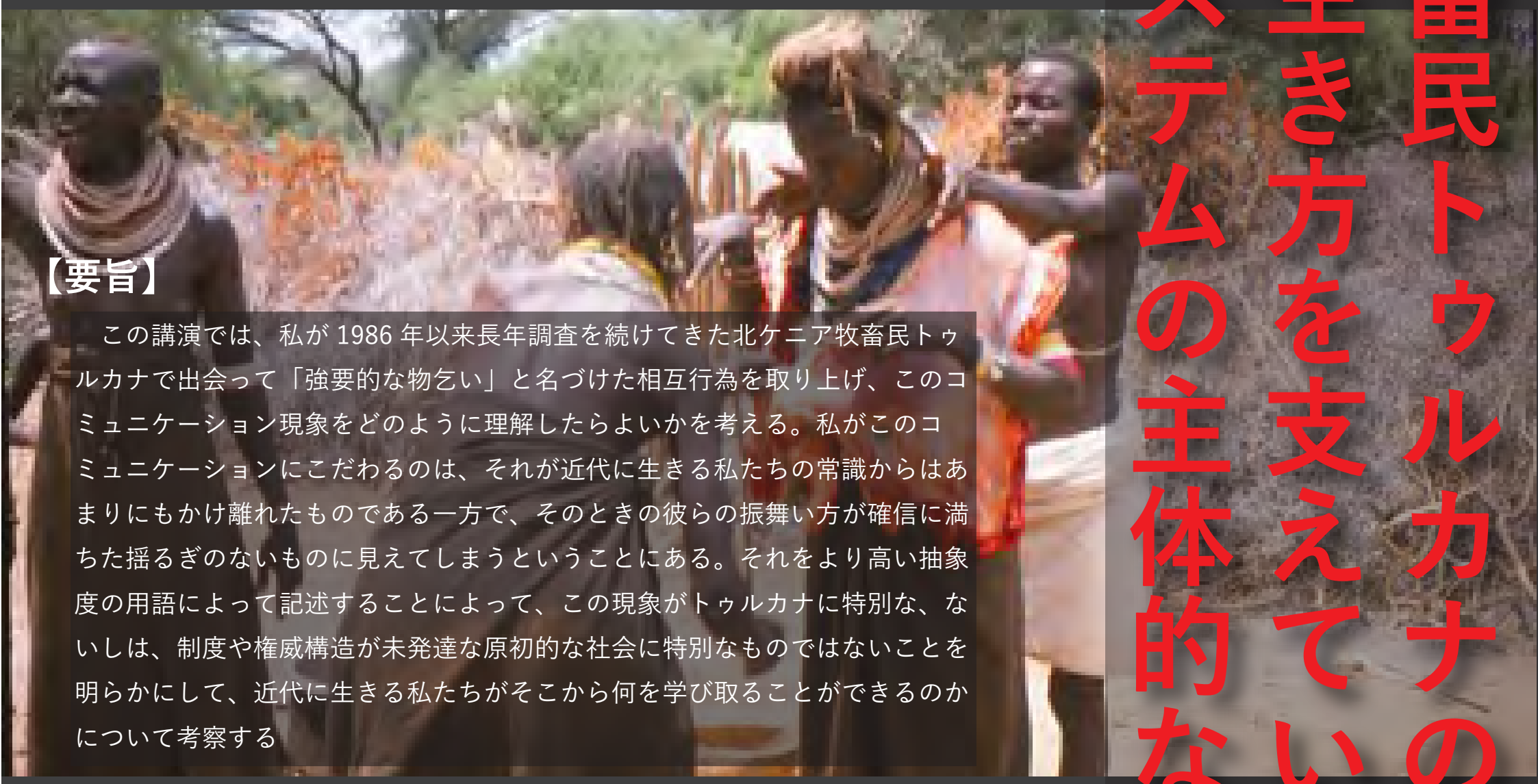
菅原和孝（京都大学・名誉教授）

内藤直樹（徳島大学・准教授）

【日時】

3月10日（金）

16:00 開演（15:30 開場）



【要旨】

この講演では、私が1986年以来長年調査を続けてきた北ケニア牧畜民トゥルカナで出会って「強要的な物乞い」と名づけた相互行為を取り上げ、このコミュニケーション現象をどのように理解したらよいかを考える。私がこのコミュニケーションにこだわるのは、それが近代に生きる私たちの常識からはあまりにもかけ離れたものである一方で、そのときの彼らの振舞い方が確信に満ちた揺るぎのないものに見えてしまうということにある。それをより高い抽象度の用語によって記述することによって、この現象がトゥルカナに特別な、ないしは、制度や権威構造が未発達な原初的な社会に特別なものではないことを明らかにして、近代に生きる私たちがそこから何を学び取ることができるのかについて考察する

【会場】

京都大学・総合研究 2 号館 4 階　AA447

▽会場へのアクセス（京都大学吉田キャンパス本部構内）

【備考】

* 京都人類学研究会は京都を中心とする関西の人類学および関連分野に関心をもつ研究者・大学院生がその研究成果を報告する場です。
* 事前の参加予約は必要ありません。どなたでも自由に参加いただけます。
* 当日は資料代として200円いただきます。
* 講演会後に懇親会を予定しております。

【お問い合わせ】

kyojinken2016@gmail.com（京都人類学研究会事務局）

京都人類学研究会2016年度代表：平野（野元）美佐

代表補佐：田中雅一